

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 群馬県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	心臓血管センター	2
-	がんセンター	3
-	精神医療センター	4
-	小児医療センター	5
伊勢崎市	伊勢崎市民病院	6
藤岡市	藤岡市国民健康保険鬼石病院	7
安中市	公立碓氷病院	8
桐生地域医療企業団	桐生厚生総合病院	9
多野藤岡医療事務市町村組合	公立藤岡総合病院	10
邑楽館林医療企業団	公立館林厚生病院	11
富岡地域医療企業団	公立富岡総合病院	12
富岡地域医療企業団	公立七日市病院	13
下仁田南牧医療事務組合	下仁田厚生病院	14
吾妻広域町村圏振興整備組合（事業会計分）	中之条病院	15
西吾妻福祉病院組合（事業会計分）	西吾妻福祉病院	16

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名					
病院名 心臓血管センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,000 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	8	指定病院の状況	救 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	195	63.5	60.1	62.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	195	63.5	60.1	62.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.0	8.6	9.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,939,110	
決算規模(千円)	881,483,396	
標準財政規模(千円)	470,478,105	
財政力指数	0.61000	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	130.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,967,347			
1 経常収益	9,964,220			
(1) 医業収益	8,939,956			
(うち修正医業収益)	8,855,216			
入院収益	7,875,795			
外来収益	803,233			
診療収入計	8,679,028			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	260,928			
(うち他会計負担金)	84,740			
(2) 医業外収益	1,024,264			
(うち国・都道府県補助金)	6,654			
(うち他会計補助・負担金)	681,954			
(うち長期前受金戻入)	262,437			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,127			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,495,636			
2 経常費用	10,495,636			
(1) 医業費用	10,414,445			
職員給与費	3,949,327	44.2	60.8	69.3
材料費	4,531,994	50.7	27.1	18.4
(うち薬品費)	50,439	0.6	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	4,435,249	49.6	11.8	9.1
減価償却費	487,308	5.5	8.6	10.8
経費	1,334,698	14.9	22.0	29.9
(うち委託料)	739,097	8.3	11.8	13.7
研究研修費	42,262			
資産減耗費	68,856			
(2) 医業外費用	81,191			
(うち支払利息)	11,059	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-531,416			
純損益	-528,289			
累積欠損金	3,202,267			
経常収支比率	94.9		93.0	91.6
医業収支比率	85.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	85.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	87.6		81.6	75.4

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	30,799,159
1 固定資産	22,047,415
(1) 有形固定資産	21,932,570
(2) 無形固定資産	114,845
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	8,751,744
(1) 現金及び預金	4,208,181
(2) 未収金及び未収収益	4,261,466
(3) 貸倒引当金()	35,969
(4) 貯蔵品	262,414
3 繰延資産	-
負債合計	28,373,672
1 固定負債	16,575,382
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,175,730
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,343,955
(6) リース債務	55,697
2 流動負債	6,090,006
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,930,644
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,184,664
(6) リース債務	20,114
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,818,759
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,708,284
(1) 長期前受金	29,568,936
(2) 長期前受金収益化累計額()	23,860,652
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,425,487
1 本金	10,433,631
2 剰余金	-8,008,144
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,619,956
負債・資本合計	30,799,159
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	683,398	766,694
資本勘定繰入	187,056	187,056
計	870,454	953,750

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名					
病院名 がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,505 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	臨が		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	314	56.9	54.0	52.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	314	56.9	54.0	52.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.4	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,939,110	
決算規模(千円)	881,483,396	
標準財政規模(千円)	470,478,105	
財政力指数	0.61000	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	130.0

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	11,852,092				
1 経常収益	11,852,092				
(1) 医業収益	10,506,173				
(うち修正医業収益)	10,484,155				
入院収益	4,743,612				
外来収益	5,388,139				
診療収入計	10,131,751				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	374,422				
(うち他会計負担金)	22,018				
(2) 医業外収益	1,345,919				
(うち国・都道府県補助金)	12,355				
(うち他会計補助・負担金)	904,304				
(うち長期前受金戻入)	373,802				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	12,744,159				
2 経常費用	12,744,159				
(1) 医業費用	12,315,347				
職員給与費	4,638,398	44.1	60.8	61.3	
材料費	4,712,844	44.9	27.1	26.2	
(うち薬品費)	3,468,123	33.0	14.8	14.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,183,035	11.3	11.8	11.2	
減価償却費	695,690	6.6	8.6	8.5	
経費	2,167,176	20.6	22.0	21.8	
(うち委託料)	1,279,818	12.2	11.8	11.9	
研究研修費	92,283				
資産減耗費	8,956				
(2) 医業外費用	428,812				
(うち支払利息)	20,943	0.2	0.9	0.9	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-892,067				
純損益	-892,067				
累積欠損金	3,814,400				
経常収支比率	93.0		93.0	92.2	
医業収支比率	85.3		83.9	84.6	
修正医業収支比率	85.1		81.0	81.8	
他会計繰入金対経常収益比率	7.8		12.2	10.8	
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.3	12.4	
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.3	10.7	
実質収益対経常費用比率	85.7		81.6	82.3	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	30,799,159
1 固定資産	22,047,415
(1) 有形固定資産	21,932,570
(2) 無形固定資産	114,845
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	8,751,744
(1) 現金及び預金	4,208,181
(2) 未収金及び未収収益	4,261,466
(3) 貸倒引当金()	35,969
(4) 貯蔵品	262,414
3 繰延資産	-
負債合計	28,373,672
1 固定負債	16,575,382
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,175,730
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,343,955
(6) リース債務	55,697
2 流動負債	6,090,006
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,930,644
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,184,664
(6) リース債務	20,114
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,818,759
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,708,284
(1) 長期前受金	29,568,936
(2) 長期前受金収益化累計額()	23,860,652
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,425,487
1 本金	10,433,631
2 剰余金	-8,008,144
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,619,956
負債・資本合計	30,799,159
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	789,828	926,322
資本勘定繰入	407,684	407,684
計	1,197,512	1,334,006

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)			都道府県名
			群馬県
市町村・組合名			
病院名	精神医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,594 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	臨 輪
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	265	57.8	56.6	56.4
感染症	-	-	-	-
計	265	57.8	56.6	56.4
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,939,110	
決算規模(千円)	881,483,396	
標準財政規模(千円)	470,478,105	
財政力指数	0.61000	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	130.0

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	3,006,740				
1 経常収益	3,006,502				
(1) 医業収益	2,035,759				
(うち修正医業収益)	1,997,580				
入院収益	1,729,987				
外来収益	237,607				
診療収入計	1,967,594				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	68,165				
(うち他会計負担金)	38,179				
(2) 医業外収益	970,743				
(うち国・都道府県補助金)	3,239				
(うち他会計補助・負担金)	815,425				
(うち長期前受金戻入)	135,962				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	238				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,920,783				
2 経常費用	2,920,783				
(1) 医業費用	2,900,323				
職員給与費	1,954,989	96.0	60.8	108.5	
材料費	183,741	9.0	27.1	9.4	
(うち薬品費)	98,298	4.8	14.8	6.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,490	1.3	11.8	1.4	
減価償却費	229,974	11.3	8.6	12.6	
経費	523,690	25.7	22.0	34.8	
(うち委託料)	278,469	13.7	11.8	15.4	
研究研修費	6,849				
資産減耗費	1,080				
(2) 医業外費用	20,460				
(うち支払利息)	6,048	0.3	0.9	2.1	
(3) 特別損失	-				
経常損益	85,719				
純損益	85,957				
累積欠損金	160,836				
経常収支比率	102.9		93.0	95.5	
医業収支比率	70.2		83.9	60.3	
修正医業収支比率	68.9		81.0	57.7	
他会計繰入金対経常収益比率	28.4		12.2	35.6	
他会計繰入金対医業収益比率	41.9		14.3	58.4	
他会計繰入金対総収益比率	28.4		12.3	35.3	
実質収益対経常費用比率	73.7		81.6	61.5	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)		
区分	決算額	
資産合計	30,799,159	
1 固定資産	22,047,415	
(1) 有形固定資産	21,932,570	
(2) 無形固定資産	114,845	
(3) 投資その他の資産	-	
2 流動資産	8,751,744	
(1) 現金及び預金	4,208,181	
(2) 未収金及び未収収益	4,261,466	
(3) 貸倒引当金()	35,969	
(4) 貯蔵品	262,414	
3 繰延資産	-	
負債合計	28,373,672	
1 固定負債	16,575,382	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,175,730	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	6,343,955	
(6) リース債務	55,697	
2 流動負債	6,090,006	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,930,644	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	1,184,664	
(6) リース債務	20,114	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	2,818,759	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	5,708,284	
(1) 長期前受金	29,568,936	
(2) 長期前受金収益化累計額()	23,860,652	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	2,425,487	
1 本金	10,433,631	
2 剰余金	-8,008,144	
(1) 資本剰余金	611,812	
(2) 利益剰余金	-8,619,956	
負債・資本合計	30,799,159	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	815,279	853,604
資本勘定繰入	144,807	144,807
計	960,086	998,411

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名					
病院名 小児医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,004 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	150	66.2	68.6	63.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	66.2	68.6	63.3
平均在院日数(一般病床のみ)		9.4	11.0	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	1,939,110	
決算規模(千円)	881,483,396	
標準財政規模(千円)	470,478,105	
財政力指数	0.61000	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	130.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,565,761			
1 経常収益	6,565,759			
(1) 医業収益	4,336,045			
(うち修正医業収益)	4,160,298			
入院収益	3,161,613			
外来収益	815,598			
診療収入計	3,977,211			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	358,834			
(うち他会計負担金)	175,747			
(2) 医業外収益	2,229,714			
(うち国・都道府県補助金)	48,969			
(うち他会計補助・負担金)	1,778,857			
(うち長期前受金戻入)	258,868			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,104,172			
2 経常費用	7,104,135			
(1) 医業費用	7,015,661			
職員給与費	3,995,998	92.2	60.8	69.3
材料費	995,479	23.0	27.1	18.4
(うち薬品費)	458,907	10.6	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	512,553	11.8	11.8	9.1
減価償却費	476,985	11.0	8.6	10.8
経費	1,497,423	34.5	22.0	29.9
(うち委託料)	742,918	17.1	11.8	13.7
研究研修費	43,463			
資産減耗費	6,313			
(2) 医業外費用	88,474			
(うち支払利息)	8,709	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	37			
経常損益	-538,376			
純損益	-538,411			
累積欠損金	1,442,453			
経常収支比率	92.4		93.0	91.6
医業収支比率	61.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	59.3		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	29.8		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	45.1		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	29.8		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	64.9		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	30,799,159
1 固定資産	22,047,415
(1) 有形固定資産	21,932,570
(2) 無形固定資産	114,845
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	8,751,744
(1) 現金及び預金	4,208,181
(2) 未収金及び未収収益	4,261,466
(3) 貸倒引当金()	35,969
(4) 貯蔵品	262,414
3 繰延資産	-
負債合計	28,373,672
1 固定負債	16,575,382
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,175,730
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,343,955
(6) リース債務	55,697
2 流動負債	6,090,006
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,930,644
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,184,664
(6) リース債務	20,114
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,818,759
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,708,284
(1) 長期前受金	29,568,936
(2) 長期前受金収益化累計額()	23,860,652
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,425,487
1 本金	10,433,631
2 剰余金	-8,008,144
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,619,956
負債・資本合計	30,799,159
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,875,734	1,954,604
資本勘定繰入	192,970	192,970
計	2,068,704	2,147,574

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名		伊勢崎市			
病院名		伊勢崎市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	47,720 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	490	76.7	75.3	72.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	494	76.1	74.7	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.2	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	211,850	
決算規模(千円)	93,310,351	
標準財政規模(千円)	46,818,516	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.2
	将来負担比率(%)	7.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,944,491			
1 経常収益	16,944,491			
(1) 医業収益	16,144,229			
(うち修正医業収益)	15,967,706			
入院収益	10,445,331			
外来収益	5,076,098			
診療収入計	15,521,429			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	622,800			
(うち他会計負担金)	176,523			
(2) 医業外収益	800,262			
(うち国・都道府県補助金)	47,136			
(うち他会計補助・負担金)	106,472			
(うち長期前受金戻入)	283,976			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,416,317			
2 経常費用	18,416,317			
(1) 医業費用	17,218,111			
職員給与費	8,458,876	52.4	60.8	58.1
材料費	5,460,955	33.8	27.1	29.1
(うち薬品費)	2,824,890	17.5	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,628,302	16.3	11.8	12.7
減価償却費	906,898	5.6	8.6	8.1
経費	2,336,070	14.5	22.0	18.7
(うち委託料)	1,366,480	8.5	11.8	10.4
研究研修費	38,237			
資産減耗費	17,075			
(2) 医業外費用	1,198,206			
(うち支払利息)	78,910	0.5	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-1,471,826			
純損失	-1,471,826			
累積欠損金	1,471,826			
経常収支比率	92.0		93.0	93.4
医業収支比率	93.8		83.9	87.3
修正医業収支比率	92.7		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	1.7		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	1.8		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	1.7		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	90.5		81.6	84.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	20,676,651
1 固定資産	11,303,565
(1) 有形固定資産	9,402,274
(2) 無形固定資産	1,181
(3) 投資その他の資産	1,900,110
2 流動資産	9,373,086
(1) 現金及び預金	6,530,622
(2) 未収金及び未収収益	2,656,377
(3) 貸倒引当金()	20,000
(4) 貯蔵品	206,087
3 繰延資産	-
負債合計	9,466,535
1 固定負債	5,240,699
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,276,696
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,949,421
(6) リース債務	14,582
2 流動負債	2,944,092
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,057,821
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	509,556
(6) リース債務	8,118
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,303,512
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,281,744
(1) 長期前受金	2,189,740
(2) 長期前受金収益化累計額()	907,996
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	11,210,116
1 資本金	11,740,158
2 剰余金	-530,042
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-530,042
負債・資本合計	20,676,651
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	282,995	282,995
資本勘定繰入	681,337	681,337
計	964,332	964,332

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名		藤岡市			
病院名		藤岡市国民健康保険鬼石病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,886 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	52	87.4	86.7	87.7
療養	47	85.3	78.6	82.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	86.4	82.9	85.0
平均在院日数(一般病床のみ)		35.0	38.6	38.8

設立団体の状況		
人口(人)	63,261	
決算規模(千円)	30,406,019	
標準財政規模(千円)	16,478,423	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	93.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,165,399			
1 経常収益	1,164,640			
(1) 医業収益	967,831			
(うち修正医業収益)	937,530			
入院収益	796,364			
外来収益	113,163			
診療収入計	909,527			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	58,304			
(うち他会計負担金)	30,301			
(2) 医業外収益	196,809			
(うち国・都道府県補助金)	339			
(うち他会計補助・負担金)	88,041			
(うち長期前受金戻入)	34,481			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	759			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,337,842			
2 経常費用	1,337,838			
(1) 医業費用	1,236,370			
職員給与費	882,899	91.2	60.8	82.0
材料費	101,375	10.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	40,071	4.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,137	4.1	11.8	6.1
減価償却費	69,410	7.2	8.6	12.5
経費	180,749	18.7	22.0	34.4
(うち委託料)	104,738	10.8	11.8	16.9
研究研修費	1,866			
資産減耗費	71			
(2) 医業外費用	101,468			
(うち支払利息)	6,387	0.7	0.9	1.2
(3) 特別損失	4			
経常損失	-173,198			
純損失	-172,443			
累積欠損金	1,322,143			
経常収支比率	87.1		93.0	93.1
医業収支比率	78.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	75.8		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	78.2		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,580,795
1 固定資産	1,196,284
(1) 有形固定資産	1,195,964
(2) 無形固定資産	320
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	384,511
(1) 現金及び預金	166,210
(2) 未収金及び未収収益	211,846
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,455
3 繰延資産	-
負債合計	1,643,103
1 固定負債	915,926
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	495,241
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	420,685
(6) リース債務	-
2 流動負債	183,883
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	71,797
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,045
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	52,499
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	543,294
(1) 長期前受金	1,114,700
(2) 長期前受金収益化累計額()	571,406
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-62,308
1 本金	1,220,229
2 剰余金	-1,282,537
(1) 資本剰余金	33,106
(2) 利益剰余金	-1,315,643
負債・資本合計	1,580,795
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	62,308
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	119,973	118,342
資本勘定繰入	32,997	39,018
計	152,970	157,360

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	136.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		群馬県	
市町村・組合名	安中市		
病院名	公立碓氷病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	12,568 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	23	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	67.8	64.8	62.7
療養	50	46.0	45.9	47.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	149	60.5	58.5	57.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	20.8	20.9

設立団体の状況		
人口(人)	54,907	
決算規模(千円)	29,132,916	
標準財政規模(千円)	16,101,767	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	99.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,159,773			
1 経常収益	3,159,773			
(1) 医業収益	2,470,551			
(うち修正医業収益)	2,371,555			
入院収益	1,272,089			
外来収益	1,026,938			
診療収入計	2,299,027			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	171,524			
(うち他会計負担金)	98,996			
(2) 医業外収益	689,222			
(うち国・都道府県補助金)	8,643			
(うち他会計補助・負担金)	568,237			
(うち長期前受金戻入)	103,989			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,395,918			
2 経常費用	3,395,918			
(1) 医業費用	3,250,351			
職員給与費	1,695,019	68.6	60.8	69.3
材料費	851,491	34.5	27.1	18.4
(うち薬品費)	616,274	24.9	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	202,464	8.2	11.8	9.1
減価償却費	221,881	9.0	8.6	10.8
経費	475,303	19.2	22.0	29.9
(うち委託料)	306,140	12.4	11.8	13.7
研究研修費	6,657			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	145,567			
(うち支払利息)	7,614	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-236,145			
純損失	-236,145			
累積欠損金	1,549,406			
経常収支比率	93.0		93.0	91.6
医業収支比率	76.0		83.9	77.4
修正医業収支比率	73.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.1		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	27.0		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	73.4		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	3,123,442
1 固定資産	2,110,352
(1) 有形固定資産	2,110,352
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,013,090
(1) 現金及び預金	607,205
(2) 未収金及び未収収益	405,935
(3) 貸倒引当金()	30,921
(4) 貯蔵品	30,871
3 繰延資産	-
負債合計	2,164,103
1 固定負債	1,180,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	634,457
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	546,057
(6) リース債務	-
2 流動負債	468,276
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	232,677
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	101,010
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	117,476
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	515,313
(1) 長期前受金	2,334,193
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,818,880
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	959,339
1 資本金	2,508,745
2 剰余金	-1,549,406
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,549,406
負債・資本合計	3,123,442
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	647,358	667,233
資本勘定繰入	112,768	112,768
計	760,126	780,001

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 群馬県	
市町村・組合名	桐生地域医療企業団		
病院名	桐生厚生総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,089 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	420	70.6	68.7	67.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	424	70.0	68.0	67.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	15.5	15.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,007,063			
1 経常収益	9,942,212			
(1) 医業収益	8,998,390			
(うち修正医業収益)	8,816,479			
入院収益	6,169,600			
外来収益	2,395,684			
診療収入計	8,565,284			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	433,106			
(うち他会計負担金)	181,911			
(2) 医業外収益	943,822			
(うち国・都道府県補助金)	140,355			
(うち他会計補助・負担金)	499,651			
(うち長期前受金戻入)	256,440			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	64,851			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,213,973			
2 経常費用	10,213,973			
(1) 医業費用	9,818,047			
職員給与費	5,575,684	62.0	60.8	58.1
材料費	2,108,803	23.4	27.1	29.1
(うち薬品費)	1,271,943	14.1	14.8	15.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	744,421	8.3	11.8	12.7
減価償却費	561,358	6.2	8.6	8.1
経費	1,540,112	17.1	22.0	18.7
(うち委託料)	1,062,818	11.8	11.8	10.4
研究研修費	29,103			
資産減耗費	2,987			
(2) 医業外費用	395,926			
(うち支払利息)	1,401	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-271,761			
純損益	-206,910			
累積欠損金	2,067,782			
経常収支比率	97.3		93.0	93.4
医業収支比率	91.7		83.9	87.3
修正医業収支比率	89.8		81.0	84.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.2	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		14.3	11.0
他会計繰入金対総収益比率	6.8		12.3	9.8
実質収益対経常費用比率	90.7		81.6	84.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	11,973,541
1 固定資産	4,835,801
(1) 有形固定資産	4,833,693
(2) 無形固定資産	2,108
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,137,740
(1) 現金及び預金	5,619,333
(2) 未収金及び未収収益	1,518,609
(3) 貸倒引当金()	42,181
(4) 貯蔵品	37,710
3 繰延資産	-
負債合計	6,841,547
1 固定負債	3,463,921
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,073,822
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,390,099
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,894,569
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	436,335
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	367,639
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,045,649
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,483,057
(1) 長期前受金	7,925,517
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,442,460
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,131,994
1 資本金	7,196,376
2 剰余金	-2,064,382
(1) 資本剰余金	3,400
(2) 利益剰余金	-2,067,782
負債・資本合計	11,973,541
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	681,562	681,562
資本勘定繰入	294,509	294,509
計	976,071	976,071

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		群馬県	
市町村・組合名	多野藤岡医療事務市町村組合		
病院名	公立藤岡総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,429 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	395	81.4	82.3	76.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	399	80.6	81.5	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	13.9	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,061,670			
1 経常収益	11,949,044			
(1) 医業収益	11,307,648			
(うち修正医業収益)	11,206,688			
入院収益	6,892,037			
外来収益	3,864,099			
診療収入計	10,756,136			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	551,512			
(うち他会計負担金)	100,960			
(2) 医業外収益	641,396			
(うち国・都道府県補助金)	34,023			
(うち他会計補助・負担金)	169,926			
(うち長期前受金戻入)	393,714			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	112,626			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,476,430			
2 経常費用	13,476,430			
(1) 医業費用	12,710,848			
職員給与費	6,596,924	58.3	60.8	61.3
材料費	3,319,665	29.4	27.1	26.2
(うち薬品費)	2,102,782	18.6	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,126,917	10.0	11.8	11.2
減価償却費	788,006	7.0	8.6	8.5
経費	1,946,287	17.2	22.0	21.8
(うち委託料)	1,182,814	10.5	11.8	11.9
研究研修費	23,992			
資産減耗費	35,974			
(2) 医業外費用	765,582			
(うち支払利息)	115,457	1.0	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,527,386			
純損益	-1,414,760			
累積欠損金	2,860,216			
経常収支比率	88.7		93.0	92.2
医業収支比率	89.0		83.9	84.6
修正医業収支比率	88.2		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	2.3		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	2.4		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	2.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	86.7		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	17,302,725
1 固定資産	13,036,522
(1) 有形固定資産	11,971,376
(2) 無形固定資産	15,646
(3) 投資その他の資産	1,049,500
2 流動資産	4,266,203
(1) 現金及び預金	2,064,122
(2) 未収金及び未収収益	2,126,168
(3) 貸倒引当金()	73,811
(4) 貯蔵品	148,724
3 繰延資産	-
負債合計	18,759,512
1 固定負債	15,345,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,773,440
(2) その他の企業債	733,042
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,838,905
(6) リース債務	-
2 流動負債	2,939,910
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	990,505
(2) その他の企業債	113,700
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	409,420
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,323,428
(9) 前受金及び前受収益	90
3 繰延収益	474,215
(1) 長期前受金	10,549,884
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,075,669
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,456,787
1 資本金	959,515
2 剰余金	-2,416,302
(1) 資本剰余金	391,304
(2) 利益剰余金	-2,807,606
負債・資本合計	17,302,725
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,456,787
資本不足額(繰延収益控除後)()	982,572
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	270,886	270,886
資本勘定繰入	463,337	463,337
計	734,223	734,223

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	25.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		群馬県	
市町村・組合名	邑楽館林医療企業団		
病院名	公立館林厚生病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	31,885 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	29	指定病院の状況	救臨感災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	323	81.7	83.3	81.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	3.0	56.9
計	329	80.3	81.9	80.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	12.6	12.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,440,324			
1 経常収益	9,440,324			
(1) 医業収益	8,655,555			
(うち修正医業収益)	8,365,460			
入院収益	5,554,070			
外来収益	2,494,931			
診療収入計	8,049,001			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	606,554			
(うち他会計負担金)	290,095			
(2) 医業外収益	784,769			
(うち国・都道府県補助金)	38,243			
(うち他会計補助・負担金)	582,716			
(うち長期前受金戻入)	87,315			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,259,526			
2 経常費用	10,259,430			
(1) 医業費用	9,646,946			
職員給与費	5,112,475	59.1	60.8	61.3
材料費	2,453,333	28.3	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,459,248	16.9	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	924,444	10.7	11.8	11.2
減価償却費	738,707	8.5	8.6	8.5
経費	1,315,035	15.2	22.0	21.8
(うち委託料)	721,256	8.3	11.8	11.9
研究研修費	15,802			
資産減耗費	11,594			
(2) 医業外費用	612,484			
(うち支払利息)	63,166	0.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	96			
経常損失	-819,106			
純損失	-819,202			
累積欠損金	2,523,629			
経常収支比率	92.0		93.0	92.2
医業収支比率	89.7		83.9	84.6
修正医業収支比率	86.7		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	9.2		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	9.2		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	83.5		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	12,957,560
1 固定資産	8,216,200
(1) 有形固定資産	8,123,624
(2) 無形固定資産	2,115
(3) 投資その他の資産	90,461
2 流動資産	4,741,360
(1) 現金及び預金	3,330,951
(2) 未収金及び未収収益	1,356,667
(3) 貸倒引当金()	8,471
(4) 貯蔵品	34,565
3 繰延資産	-
負債合計	11,158,030
1 固定負債	8,084,136
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,831,834
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,238,516
(6) リース債務	13,786
2 流動負債	1,760,781
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	597,267
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	368,228
(6) リース債務	2,767
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	754,635
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,313,113
(1) 長期前受金	2,290,619
(2) 長期前受金収益化累計額()	977,506
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,799,530
1 本金	4,323,148
2 剰余金	-2,523,618
(1) 資本剰余金	11
(2) 利益剰余金	-2,523,629
負債・資本合計	12,957,560
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	852,142	872,811
資本勘定繰入	296,614	396,545
計	1,148,756	1,269,356

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		群馬県	
市町村・組合名	富岡地域医療企業団		
病院名	公立富岡総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	29,191 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨が感災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	302	73.8	71.4	71.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	306	72.9	70.6	70.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.4	11.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,677,513			
1 経常収益	8,677,513			
(1) 医業収益	8,078,066			
(うち修正医業収益)	8,058,970			
入院収益	5,186,820			
外来収益	2,420,699			
診療収入計	7,607,519			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	470,547			
(うち他会計負担金)	19,096			
(2) 医業外収益	599,447			
(うち国・都道府県補助金)	25,813			
(うち他会計補助・負担金)	105,324			
(うち長期前受金戻入)	282,875			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,730,261			
2 経常費用	9,729,544			
(1) 医業費用	9,392,672			
職員給与費	5,798,330	71.8	60.8	61.3
材料費	1,747,484	21.6	27.1	26.2
(うち薬品費)	775,498	9.6	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	904,916	11.2	11.8	11.2
減価償却費	642,091	7.9	8.6	8.5
経費	1,170,620	14.5	22.0	21.8
(うち委託料)	609,287	7.5	11.8	11.9
研究研修費	26,452			
資産減耗費	7,695			
(2) 医業外費用	336,872			
(うち支払利息)	31,142	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	717			
経常損益	-1,052,031			
純損益	-1,052,748			
累積欠損金	144,373			
経常収支比率	89.2		93.0	92.2
医業収支比率	86.0		83.9	84.6
修正医業収支比率	85.8		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	1.4		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	1.5		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	1.4		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	87.9		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,857,141
1 固定資産	11,315,674
(1) 有形固定資産	10,347,669
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	968,005
2 流動資産	5,541,467
(1) 現金及び預金	3,893,442
(2) 未収金及び未収収益	1,555,388
(3) 貸倒引当金()	3,844
(4) 貯蔵品	94,957
3 繰延資産	-
負債合計	9,137,722
1 固定負債	6,398,500
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,832,442
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,516,226
(6) リース債務	49,832
2 流動負債	1,806,798
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	554,334
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	513,634
(6) リース債務	16,241
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	669,862
(9) 前受金及び前受収益	9,750
3 繰延収益	932,424
(1) 長期前受金	3,359,225
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,426,801
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,719,419
1 本金	7,470,243
2 剰余金	249,176
(1) 資本剰余金	11,663
(2) 利益剰余金	237,513
負債・資本合計	16,857,141
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	155,718	124,420
資本勘定繰入	378,598	381,751
計	534,316	506,171

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		群馬県	
市町村・組合名	富岡地域医療企業団		
病院名	公立七日市病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	8,552 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	105	67.7	70.0	70.4
療養	57	89.8	88.2	86.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	162	75.5	76.4	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		54.4	59.7	57.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,843,833			
1 経常収益	1,843,833			
(1) 医業収益	1,778,235			
(うち修正医業収益)	1,778,235			
入院収益	1,490,370			
外来収益	252,497			
診療収入計	1,742,867			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	35,368			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	65,598			
(うち国・都道府県補助金)	1,741			
(うち他会計補助・負担金)	11,127			
(うち長期前受金戻入)	45,030			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,943,242			
2 経常費用	1,943,242			
(1) 医業費用	1,891,508			
職員給与費	1,422,765	80.0	60.8	69.3
材料費	113,200	6.4	27.1	18.4
(うち薬品費)	55,318	3.1	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,469	1.0	11.8	9.1
減価償却費	92,731	5.2	8.6	10.8
経費	259,178	14.6	22.0	29.9
(うち委託料)	132,876	7.5	11.8	13.7
研究研修費	2,569			
資産減耗費	1,065			
(2) 医業外費用	51,734			
(うち支払利息)	11,168	0.6	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-99,409			
純損益	-99,409			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.9		93.0	91.6
医業収支比率	94.0		83.9	77.4
修正医業収支比率	94.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	0.6		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	0.6		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	0.6		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	94.3		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	16,857,141
1 固定資産	11,315,674
(1) 有形固定資産	10,347,669
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	968,005
2 流動資産	5,541,467
(1) 現金及び預金	3,893,442
(2) 未収金及び未収収益	1,555,388
(3) 貸倒引当金()	3,844
(4) 貯蔵品	94,957
3 繰延資産	-
負債合計	9,137,722
1 固定負債	6,398,500
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,832,442
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,516,226
(6) リース債務	49,832
2 流動負債	1,806,798
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	554,334
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	513,634
(6) リース債務	16,241
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	669,862
(9) 前受金及び前受収益	9,750
3 繰延収益	932,424
(1) 長期前受金	3,359,225
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,426,801
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,719,419
1 本金	7,470,243
2 剰余金	249,176
(1) 資本剰余金	11,663
(2) 利益剰余金	237,513
負債・資本合計	16,857,141
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	22,862	11,127
資本勘定繰入	47,513	47,513
計	70,375	58,640

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		群馬県	
市町村・組合名	下仁田南牧医療事務組合		
病院名	下仁田厚生病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,381 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	13	指定病院の状況	輪
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	48	75.3	72.3	83.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	75.3	72.3	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		32.3	34.9	15.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,262,170			
1 経常収益	1,262,170			
(1) 医業収益	934,323			
(うち修正医業収益)	913,910			
入院収益	679,821			
外来収益	184,974			
診療収入計	864,795			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	69,528			
(うち他会計負担金)	20,413			
(2) 医業外収益	327,847			
(うち国・都道府県補助金)	347			
(うち他会計補助・負担金)	290,517			
(うち長期前受金戻入)	13,318			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,332,083			
2 経常費用	1,332,083			
(1) 医業費用	1,287,664			
職員給与費	753,644	80.7	60.8	92.5
材料費	110,763	11.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	31,622	3.4	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	59,163	6.3	11.8	5.8
減価償却費	92,947	9.9	8.6	13.4
経費	327,995	35.1	22.0	47.6
(うち委託料)	104,962	11.2	11.8	23.6
研究研修費	941			
資産減耗費	1,374			
(2) 医業外費用	44,419			
(うち支払利息)	10,905	1.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-69,913			
純損失	-69,913			
累積欠損金	1,958,344			
経常収支比率	94.8		93.0	95.6
医業収支比率	72.6		83.9	59.3
修正医業収支比率	71.0		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	24.6		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	33.3		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	24.6		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	71.4		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,983,649
1 固定資産	2,410,773
(1) 有形固定資産	2,404,156
(2) 無形固定資産	2
(3) 投資その他の資産	6,615
2 流動資産	572,876
(1) 現金及び預金	410,731
(2) 未収金及び未収収益	158,840
(3) 貸倒引当金()	446
(4) 貯蔵品	3,732
3 繰延資産	-
負債合計	1,533,709
1 固定負債	964,435
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	625,302
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	337,741
(6) リース債務	1,392
2 流動負債	194,614
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	106,327
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	58,368
(6) リース債務	1,392
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,694
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	374,660
(1) 長期前受金	618,448
(2) 長期前受金収益化累計額()	243,788
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,449,940
1 資本金	3,379,256
2 剰余金	-1,929,316
(1) 資本剰余金	29,028
(2) 利益剰余金	-1,958,344
負債・資本合計	2,983,649
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	338,082	310,930
資本勘定繰入	59,070	59,070
計	397,152	370,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	209.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		群馬県	
市町村・組合名	吾妻広域町村圏振興整備組合(事業会計分)		
病院名	中之条病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	6,080 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	1	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	223	71.4	76.7	84.2
感染症	-	-	-	-
計	223	71.4	76.7	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	64,835			
1 経常収益	64,835			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	64,835			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	64,410			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	64,030			
2 経常費用	64,030			
(1) 医業費用	64,030			
職員給与費	-	-	60.8	108.5
材料費	-	-	27.1	9.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.4
減価償却費	52,826	-	8.6	12.6
経費	9,944	-	22.0	34.8
(うち委託料)	-	-	11.8	15.4
研究研修費	-			
資産減耗費	1,260			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	2.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	805			
純損益	805			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		93.0	95.5
医業収支比率	-		83.9	60.3
修正医業収支比率	-		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	99.3		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	99.3		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	0.7		81.6	61.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,346,689
1 固定資産	835,649
(1) 有形固定資産	834,029
(2) 無形固定資産	1,620
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	511,040
(1) 現金及び預金	511,040
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	262,978
1 固定負債	500
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	262,478
(1) 長期前受金	1,072,715
(2) 長期前受金収益化累計額()	810,237
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,083,711
1 資本金	211,568
2 剰余金	872,143
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	872,143
負債・資本合計	1,346,689
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	64,410	64,410
資本勘定繰入	-	-
計	64,410	64,410

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				群馬県	
市町村・組合名		西吾妻福祉病院組合(事業会計分)			
病院名		西吾妻福祉病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,903 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救 へ 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	74	66.0	60.5	66.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	74	66.0	60.5	66.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.3	19.5	19.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	364,556			
1 経常収益	364,556			
(1) 医業収益	36,841			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	36,841			
(うち他会計負担金)	36,841			
(2) 医業外収益	327,715			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	243,818			
(うち長期前受金戻入)	69,801			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	346,602			
2 経常費用	346,602			
(1) 医業費用	306,282			
職員給与費	24,268	65.9	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	135,224	367.0	8.6	12.5
経費	146,790	398.4	22.0	34.4
(うち委託料)	18,153	49.3	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	40,320			
(うち支払利息)	25,402	69.0	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	17,954			
純損益	17,954			
累積欠損金	35,737			
経常収支比率	105.2		93.0	93.1
医業収支比率	12.0		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	77.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	761.8		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	77.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	24.2		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,185,639
1 固定資産	3,143,013
(1) 有形固定資産	2,200,678
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	942,335
2 流動資産	42,626
(1) 現金及び預金	42,626
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,580,142
1 固定負債	1,392,617
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,392,617
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	233,092
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	231,304
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,655
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	954,433
(1) 長期前受金	3,606,538
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,652,105
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	605,497
1 資本金	30,041
2 剰余金	575,456
(1) 資本剰余金	609,193
(2) 利益剰余金	-33,737
負債・資本合計	3,185,639
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	223,377	280,659
資本勘定繰入	137,901	169,901
計	361,278	450,560

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	97.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。